

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11)実用新案登録番号

実用新案登録第3070116号
(U3070116)

(45)発行日 平成12年7月18日(2000.7.18)

(24)登録日 平成12年4月19日(2000.4.19)

(51)Int.Cl.⁷

B 65 D 55/16
23/00

識別記号

F I

B 65 D 55/16
23/00

U

評価書の請求 有 請求項の数3 書面 (全4頁)

(21)出願番号

実願平11-9405

(22)出願日

平成11年11月5日(1999.11.5)

(73)実用新案権者 598024385

西川 光治

京都府宇治市木幡御歳山39の171番地

(72)考案者 西川 光治

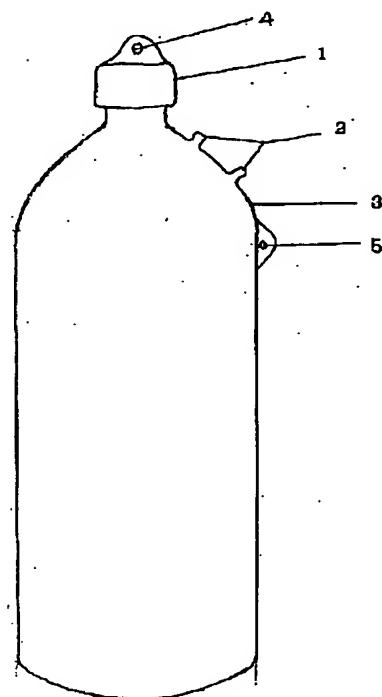
京都府宇治市木幡御歳山 39の171番地

(54)【考案の名称】 清涼飲料ペットボトルキャップ止め。

(57)【要約】

ペットボトルのキャップを開けた後やり場に困る事無く、紛失せずにペットボトル本体に簡単にかん着出来ることを提供することを目的とする。ペットボトルを持ち運びの際に簡単に出来ることを提供することを目的とする。

【構成】 ペットボトル本体とキャップに突起部を付けハンドストラップを付ける穴を開けて構成されている。ペットボトル本体からキャップを取った後ボトル本体に止めることができる構成と、されている。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 清涼飲料水ペットボトルの各種のキャップを開けた後の保管の場所をペットボトル本体にかん着できることを、特徴とするペットボトル。

【請求項2】 清涼飲料水ペットボトル500mL本体をぶら下げるハンドストラップを付けるため、突起部を付け、突起部に穴を開けハンドストラップを付けぶら下げるか、腰のベルトに下げることが出来ることを特徴とするペットボトル。

*

2

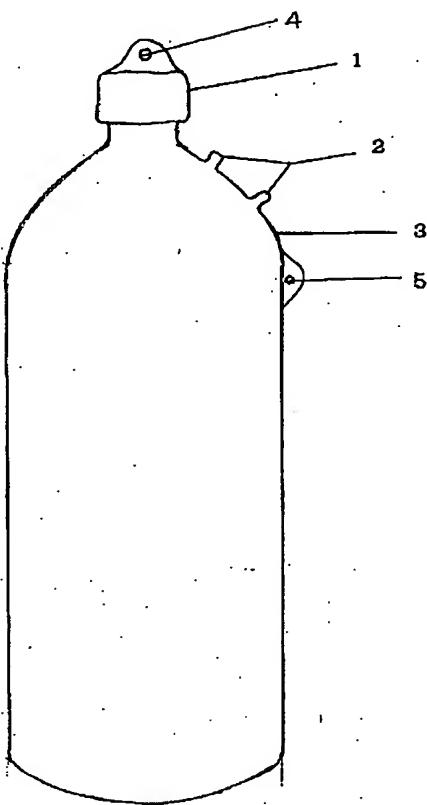
* 【請求項3】 清涼飲料水ペットボトル500mLのキャップの上に突起部を出して穴を開けハンドストラップを付けてぶら下げるか腰のベルトにぶら下げることが出来るなどを特徴とするペットボトル。

【図面の簡単な説明】

【図1】 清涼飲料水ペットボトル1例の側面図。

【符号の説明】

1…キャップ、2…キャップ止め突起部、3…ペットボトル本体、4、5…ハンドストラップを付ける穴。



【手続補正書】

【提出日】 平成12年1月24日（2000.1.24）

【手続補正1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 実用新案登録請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 清涼飲料水のペットボトル各類のキャップを開けた後の保管をペットボトル本体の上部の丸み部分にマッチ棒の軸の様な突起部をキャップの内側のサイズに合わせ二カ所形成して、そこにキャップを一時かん

着をしておくと使用後か最後の者がキャップを簡単に閉めることができ、キャップの紛失などが無くなることが特徴とするペットボトル。

【請求項2】 清涼飲料水ペットボトル500mL本体をぶら下げるハンドストラップを付けるため、突起部を付け形成し突起部に穴を開けハンドストラップを付けぶら下げるか、腰のベルトに下げることが出来ることを特徴とするペットボトル。

【請求項3】 清涼飲料水ペットボトル500mLのキャップの上に突起部を出して穴を開けハンドストラップを付けてぶら下げるか腰のベルトにぶら下げることが出来るなどを特徴とするペットボトル。

【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案は、ペットボトルを改良した、ペットボトル本体とペットボトルのキャップに関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来の清涼飲料水のペットボトルのキャップを、開けて飲む時に片手にキャップを持つので邪魔になることなど問題点であった。

【0003】

従来の500mLペットボトル本体を持ち運びの際に袋の中か、本体を手に持つて他の物が持てない点が問題点であった。

【考案が解決しようとする課題】

この考案は、上記した問題点を解消するペットボトル本体とペットボトルのキャップを開けた後にキャップをペットボトル本体にかん着することを提供する目的とする。

【0004】

この考案は、上記した問題点を解消するペットボトル本体を、持って歩く時などにハンドストラップを付けると、他の物が持てることが出来ることを提供を目的とする。

【0005】**【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するため、この考案は、ペットボトルの上部の細くなっている箇所にキャップの内側のサイズに合った小さな突起部を、上下二箇所出して清涼飲料水を飲む時にキャップをペットボトル突起部にかん着出来る（各種ペットボトル）、ボトル、キャップ本体にハンドストラップを付けることを特徴とする。

【0006】**【作用】**

ペットボトルに突起部を付け、キャップを開けた後その手で突起部にキャップ

をかん着することで、片手でキヤップを持つ必要がなく、片手で飲めキヤップの紛失が無くなる。

ペットボトルを持って行楽に行つた時などにペットボトル本体かキヤップにハンドストラップを付けることで、簡単に持ち運びが出来、飲む時は上記と同じく突起部にキヤップをかん着し、又ハンドストラップを少しおしゃれな物を付けるとかわいくなる。

また廻し飲みの際、飲料水が残った時、キヤップが簡単にできる。

【0007】

【実施例】

図1は、突起部をつけたキヤップと、4はハンドストラップを付ける穴の側面図であり、キヤップハンドストラップを付けてぶら下げタイプである。

図3は、清涼飲料水ペットボトル本体側面図、2は上下に付けた突起部でありキヤップの内径に合わせた突起部のキヤップ止め側面図であり、図5はペットボトル本体突起部に穴を開けてハンドストラップを付ける、側面図であり、ペットボトル本体のぶら下げタイプである。ペットボトル3に2突起部を付けキヤップ止め、タイプとする

【0008】

【考案の効果】

この考案は前記のように構成され、キヤップを開けた後簡単にボトル本体に止めることが出来、キヤップを紛失をすることなく、かつ行楽、散歩中にハンドストラップを腰のベルトに止めるか、指先でぶら下げ片手もしくは、両手が空き他の物を持つことが出来る効果を有する。